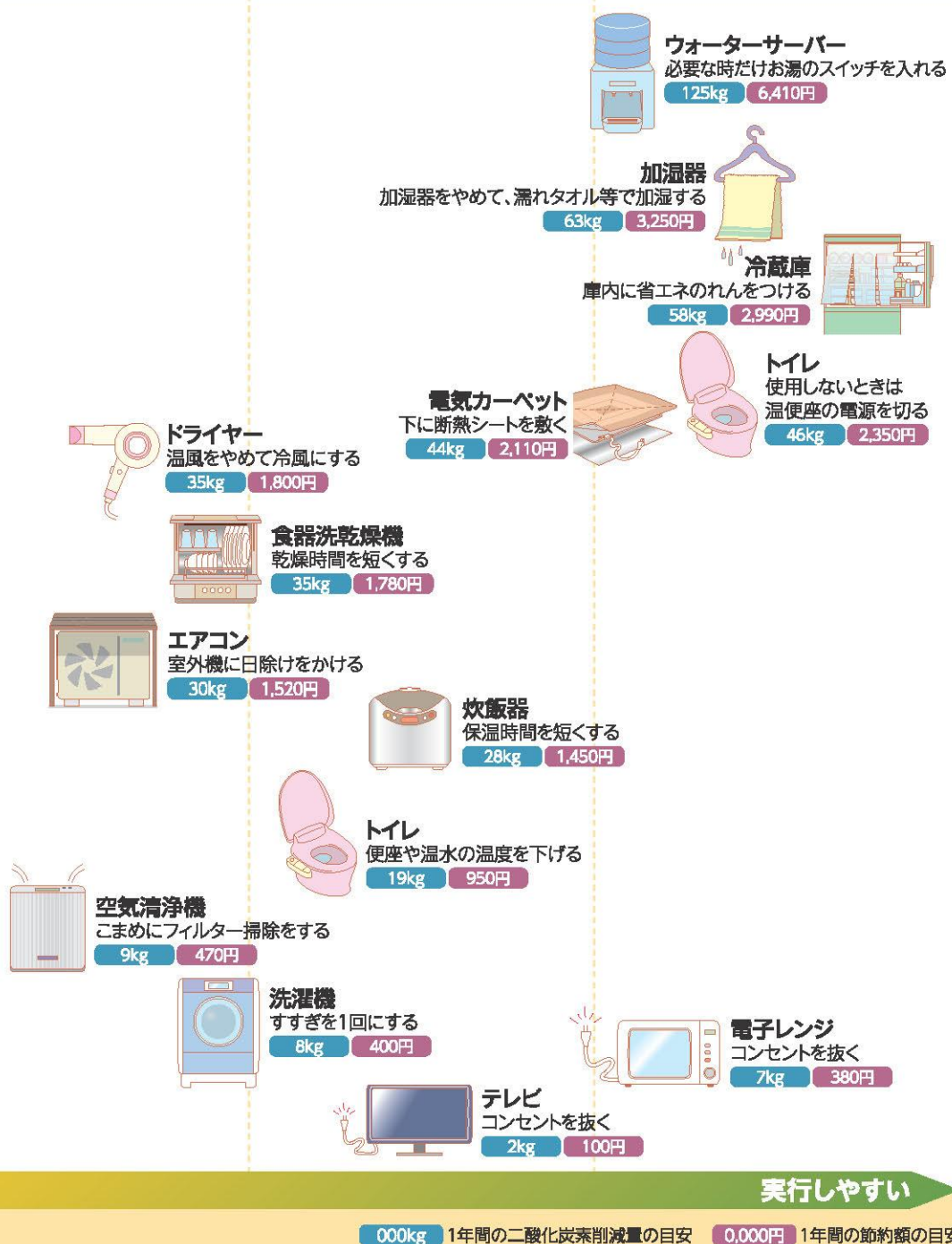


ガマンの省エネをしていませんか？

省エネ行動には、無理をした割には効果が少ないものや、
ちょっとしたことで大きな省エネ効果のあるものがあります。
どんな省エネ行動が効果的なのかチェックしてみましょう。

省エネ効果が大きい



ムリなくラクに
省エネしましょう!

江戸川版

省エネガイドブック



【編集・発行・お問い合わせ】

江戸川区 環境部 環境推進課調査係

住所: 〒132-8501 江戸川区中央 1-4-1

電話: 03-5662-6745 FAX: 03-5678-6741

<http://www.city.edogawa.tokyo.jp/>

家庭で使うエネルギー量の移り変わり

家族の成長に合わせて家庭で使うエネルギー量は変化していきます。

家庭で無理なく省エネするためには、

「増える前に増やさない、予防の省エネ」が大切です。



自宅の購入

空調・給湯・照明の使用量増加

太陽エネルギー利用機器や断熱窓など、省エネ設備の導入を検討



結 婚

家庭のエネルギー使用量の変化



子どもの誕生

空調・水道の使用量増加

家族が増えると空調・水道の使用量が増加します。エアコンや給湯器・洗濯機などの買い換えを検討



子どもの成長

空調・給湯の使用量増加

子どもが中学生になると、給湯でのエネルギー消費が急激に増えます。給湯器の買い換えが特にオススメ



子どもの独立

エネルギー消費が大幅に減少

家族構成の変化に合わせて家電製品をサイズダウン



セカンドライフ

空調・照明・テレビの使用量増加

ライフスタイルを見直しましょう

区民のみなさんが 省エネ実験をしました

江戸川区では平成22・23年度の2年間にわたって家電
機器の電力消費量がわかる計測器を使って、区内の
330世帯で家庭の省エネ実験をしました。

今回の実験では、参加者の家庭にある個々の機器ごと
に様々な省エネ行動を実践してもらい、その効果を
調べました。

結果、簡単にできて省エネ効果の高い省エネ行動が
あまり実践されていなかったり、よく実践されている省
エネ行動には意外に省エネ効果が低いものがあること
などが分かりました。

家庭に最適な方法で最大限の節電効果を得る「正しい
節電」をしましょう。

毎日ムリなく
できることから

住みかえの
ときには
大きな目標で

今日からできる 効果的な取り組み

今回の省エネ実験でわかった
省エネ行動の効果です。
効果的な取り組みで
ムリなくラクに省エネしましょう。



- ★★★★ 非常に効果がある
- ★★★ より効果がある
- ★ 効果がある



キッチン

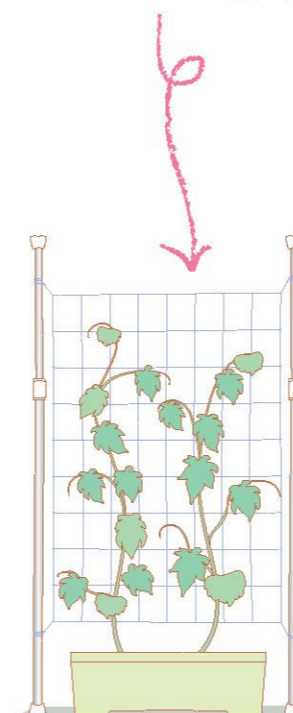
- ★★★★ ウォーターサーバーは必要な時だけお湯のスイッチを入れる
- ★★ 炊飯器の保温時間を短くする
- ★★ 食器洗乾燥機の乾燥時間を短くする

えどがわ 住まいの省エネ基準

住宅の購入・リフォーム時は、
家庭のエネルギー消費の
大きなターニングポイントの一つです。
そこで、省エネで快適な住まいのための
省エネ基準をご紹介します。
新築・リフォーム時の
参考にしてください。

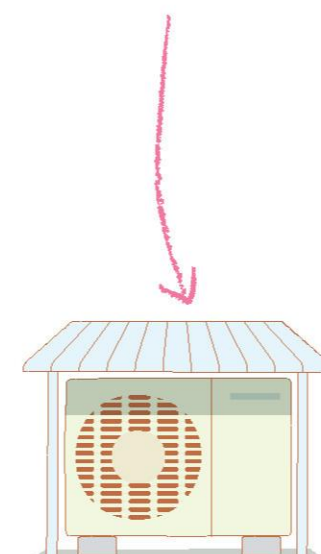
みどりのカーテン

- 日差しが強い窓・テラス・ベランダにはみどりのカーテンができる工夫を。



室外機

- 室外機は北面など直射日光が当たらない場所に設置する。
- 壁面から15cm以上離して設置する。
- 接地面には断熱塗料を塗布して、輻射熱を防ぐ。





冷蔵庫

- ★★★★ 庫内に省エネのれんをつける
- ★★★★ 季節に合わせて温度調整をする
- ★★ 開閉回数を少なくする
- ★★ 庫内整理と清掃



テレビ

- ★ 視聴時間を短くする
- ★ 1台のテレビで見る



電気カーペット

- ★★★★ 設定温度を下げる
- ★★★★ 電気カーペットの下に断熱シートを敷く



エアコン

- ★★ 設定温度は適切に
- ★★ こまめにフィルターを掃除する
- ★★ エアコンの室外機に日除けをかける
- ★★ 扇風機を併用する



温水洗浄便座

- ★★★★ 使用しないときは温便座の電源を切る
- ★ 便座や温水の温度を下げる

エアコン

- 吹き抜けやオープンキッチンがある場合、エアコンは適応畳数より1ランク大きめの機器を選ぶ。
- 比較的広い部屋にエアコンを設置する場合は、天井にシーリングファンを設置するなどし、空気が循環するようにする。

照明

- LED照明をつける。
- シーリングライトは調光機能付きのものにする。

窓の断熱対策

- 直射日光の差し込む窓や浴室、床暖房を設置する部屋は、省エネ性能☆3つ以上の窓ガラスと樹脂サッシを使う。

冷蔵庫スペース

- 壁から5cm以上、天井から20cm以上の隙間を取って設置できるような間取りが良い。
- コンロと冷蔵庫スペースは直線距離で1m以上離して設置できるようにする。

給湯器

- ヒートポンプ式電気給湯器、太陽熱温水器など、効率の良い給湯器を設置する。
- 貯湯タンク設置場所はコンクリート面への断熱塗料等の塗布、風雨よけの囲い設置など、冷えないように工夫をする。(防音対策も忘れずに)

